

ガイドラインの臨床への生かし方を理解



がん終末期における 輸液・鎮静の考え方と看護師の役割

事例を交えて倫理的ジレンマを解消!

「終末期がん患者の輸液療法に関するガイドライン」「がん患者の治療抵抗性の苦痛と鎮静に関する基本的な考え方の手引き」に沿った輸液・鎮静の考え方を理解したうえで、個々のケースでそれをどう活用していくのかという点まで理解を深めます。経験豊富な講師が、実践に活用できる知識をわかりやすく解説します。

坂本雅樹氏 名古屋徳洲会総合病院
外科・緩和ケア外科 部長

1997年名古屋市立大学卒業、同第一外科入局、2004年名古屋市立大学消化器外科助手、2009年名古屋市立大学病院緩和ケア部病院講師、2013年1月名古屋徳洲会総合病院外科医長、2014年4月から現職。緩和医療専門医、外科指導医、消化器外科指導医、内視鏡外科技術認定医、消化器内視鏡専門医、日本サイコオンコロジー学会認定ファシリテーター。

大阪 21年10月23日(土) 田村駒ビル [26]
札幌 21年10月31日(日) 道特会館 [25]

[講義時間] いずれも10:00~16:00

参加料 一般 19,000円 会員 16,000円
税込 ※会員は日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年ぎめ購読者です。
※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。
※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数11人。

個々のケースに応じた輸液・鎮静の実際を学ぶ

プログラム

1. 輸液・鎮静に関するガイドライン・手引きとは
2. 輸液の基礎知識
3. 終末期がん患者の体に起こってくる変化
4. **事例を交えて** 終末期における輸液の考え方と看護師の役割(ガイドラインに沿って)
 - 1) 身体的苦痛 ~輸液で身体的苦痛・症状は緩和する?
 - 腹水・胸水を悪化させる? ● 口渇を改善できる?
 - 浮腫を悪化させる? ● 気道分泌を悪化する? ほか
 - 2) 精神面・生活への影響
 - 患者は希望しないが家族が輸液を希望する場合
 - 輸液を希望しない患者・家族の場合 ほか
 - 3) 倫理的問題
 - 患者の希望と最善の治療が一致しない場合
 - 患者の意思決定能力がない場合は家族の意向に従ってよい? ほか
 - 4) 事例へのガイドラインの生かし方
 - 5) 医療倫理について知っておきたいこと
5. **事例を交えて** 鎮静の基礎知識と看護師の役割
 - 1) 鎮静(セデーション)とは? 2) 鎮静を開始する条件(適応)
 - 3) 鎮静の分類と特徴 4) 使用薬剤
 - 5) 患者・家族への対応 6) 事例への手引きの生かし方

このセミナーの詳細はインターネットで検索!

日総研 14247

検索

関連雑誌 Web教材+隔月刊誌(定期刊行物・会員制)

望む医療・ケアで人生の最終段階を支える!

エンド・オブ・ライフ ケア

B5判 112頁 入会金 3,000円 年間購読料 18,900円(共に税込)

- 今後の予定
- コロナ禍における
エンド・オブ・ライフケア実践事例 [5-6月号]
 - 意思決定を支援するACP
(アドバンス・ケア・プランニング) [夏(7月)号]

夏号(7月)より 季刊誌+Web教材としてリニューアル!

17年連続合格者数全国No.1!

厚生労働大臣指定 一般財団法人 日本総合研究所

社会福祉士養成所 通信課程

4月開講! 募集要項はダウンロードできます

日総研 社会福祉士 検索

日総研 接遇大賞

優れたサービス
取り組みを表彰

応募は9月30日まで。発表は11月。

取り組み事例の紹介記事はこちら

接遇大賞 検索

お問合せ
ご注文

TEL: 0120-054977

URL: www.nissoken.com

日総研

検索